



福井大学教育学部附属特別支援学校 教育相談部
2024. 1. 25 (木) 発行
福井県福井市ハツ島町 1-3
TEL 0776-22-6781 FAX 0776-22-6776
<http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~f-tokusi/>

今年度は新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、本校の児童生徒も互いの学校を訪問する学校間交流や、居住地校交流、地域の方との交流、販売活動などを実施することができました。まだまだ「これまで通り」とは行きませんが、様々な制限が緩和され、児童生徒がのびのびと交流できる日常が徐々に戻ってきているように思います。今回の『てくてく』では、このような中で実施してきた活動について御紹介します。

小学部

居住地校交流

今年度の小学部は、10名の児童が居住地校交流を行いました。個々のニーズに応じて、通常の学級や特別支援学級の児童と交流しました。普段と違う環境の中で少しドキドキした児童もいたようですが、いろいろな友達と一緒に活動し関わり合うことができました。

★Aさん★

居住地の特別支援学級と交流しました。まずは、学級のみんなから「ようこそ！」の気持ちを込めて、嵐の「ふるさと」の歓迎の歌を受けました。練習をして当日を迎えてくれたことが伝わり、Aさんも「感動しました。」と感想を伝えました。お礼にAさんは、学校祭で踊ったよさこいを元気いっぱい披露し、たくさんの拍手をもらいました。学校に帰ってからの日記では、「あえないからさみしい」と素直な気持ちを書き、再会を心待ちにしている様子が見られました。



★Bさん★

居住地の特別支援学級と交流しました。当日は、相手校の先生が、Bさんの大好きなスライムの材料をたくさん用意して待っていてくれました。クラス遊びでもスライムを使って活動していましたが、大きなたらいいっぱいのおスライムを作って遊ぶのは初めてで、みんなで協力しながら材料を混ぜ合わせました。「附属特別支援学校に戻ってからクラスのみんなで遊んでね。」ということで、鍋いっぱいのおスライムのお土産でもらいました。



小学部 居住地校交流 相手校

社北小学校	東藤島小学校	中藤小学校	木田小学校
木部小学校	東安居小学校	清明小学校	日新小学校

中学部

居住地校交流

中学部では11月から12月にかけて、2名の生徒が居住地区の中学校を訪問し、特別支援学級の生徒と交流を行いました。日頃から学部のグループで取り組んでいる活動と一緒に体験したので、2人とも見通しを持って活動し、相手校の友達と和やかに交流を楽しんでいる様子でした。また、3月には1名の生徒が居住地区の中学校に作品を送るかたちでの交流を行う予定です。

★Cさん★

1回目の交流では、お抹茶を点ててお茶会をしながら自己紹介をしました。その後は、紙すきセットを使ってみんなで紙すきをしました。紙すきの手順を友達に分かりやすく説明するなど、Cさんがリードしながら活動を進め、協力して紙すきを楽しむことができました。

2回目の交流では、制作とレクリエーションゲームをしました。制作では、フェルトを使ってクリスマスの飾りを作りました。友達に縫い方を教えてもらい、集中してフェルトを縫い上げ、立体的な帽子の飾りができました。レクリエーションでは、ボウリングと風船バレーをし、みんなで盛り上がる姿が見られました。



★Dさん★

初めての交流でしたが、落ち着いて自己紹介をし、紙染めや封筒作りの活動と一緒に体験しました。紙染めでは、みんなで協力して色水づくりから始め、思い思いに好きな色を使って染めていきました。染め上がった紙はどれも色鮮やかな美しい模様で、互いに鑑賞し合い、良さを認め合う姿が見られました。その後は、印刷した染め紙を使って封筒作りをしました。好きな模様の紙を選ぶときに友達が順番を譲ってくれるなど、優しい雰囲気が感じられ、穏やかに制作活動を楽しむことができました。



中学部 居住地校交流 相手校

灯明寺中学校

春江中学校

川西中学校

学校間交流

12月21日(木)に、中学部の花グループの生徒7名が、隣接する藤島中学校特別支援学級の生徒7名と交流を行いました。昨年度に続き2回目です。日頃、ゆうゆうタイムで花グループが行っている「袋作り」と「バッグ作り」を一緒に行いました。袋にする紙は、花グループが紙染めをしたものをカラー印刷したもので、デザインも様々です。花グループの生徒が、型紙を使って折ったり手順を教えたりすると、藤島中学校の生徒は、好きな柄の紙を選んで、好きなアニメの話しをしながら和やかな雰囲気です活動する様子が見られました。紙バッグ作りでは、予め用意したバッグに色染めした和紙で飾りを付ける活動を行いました。生徒たちは互いに協力して、顔を表現したり、縁飾りをしたり、折り紙にして貼り付けたりしました。世界で1つだけのバッグが出来上がり、附属特別支援学校に持ち帰りました。今後、作品展示で披露したり、高等部「虹の市」でエコバッグとして使用したりする予定です。



高等部

虹の市

高等部の仕事班で作成している製品を販売する「虹の市」を年に数回行っていきます。今年度は、6月の運動会、10月の学校祭で開催しました。6月の運動会では無人販売でしたが、10月の学校祭は多目的室で対面販売を行うことができ、たくさんのお客さんが来てくれました。

学校祭の虹の市では、「売り子」「レジ」「袋詰め」「体験コーナー」などの担当があり、製品づくりと並行して虹の市の販売のための練習も行いました。「僕は大きな声でいらっしゃいませを言うよ。」「私はレジを正確にします。」…、とそれぞれが当日のめあても決めて臨みました。

2月には、校内で最後の虹の市を3日間にわたって開催する予定です。たくさんの方に来ていただき、一年の集大成にしたいと思います。



ワークフェア

9月2日(土)、3日(日)にショッピングシティベルにて、ワークフェアが開催されました。ワークフェアは、障がい者雇用支援月間に合わせて、福井市しごと支援課が主催しており、本校は3日に参加しました。夏休み明けすぐから全員で製品を準備し、レジや接客、袋詰めなどの練習をしたり、チラシを作成したりしました。当日は、校長先生や教頭先生をはじめ、本校の先生や保護者の方、他学部の友達、本校を卒業した先輩方、事業所の方などたくさんの方が会いに来てくれました。また、一般のお客さんとも触れ合う機会となり、言葉使いに気を付けて話をしたり、製品を丁寧に包んで渡したりすることができました。



焼き物班 交流

12月19日(火)に、毎年恒例の福井南特別支援学校の窯業班との技術交流会が行われました。生徒8名が来校し、機械ろくろでの成形を体験しました。前日の18日には、オンラインで自己紹介をしたり、焼き物の部屋の紹介や釉薬の説明をしたりしました。当日は、大皿、平皿、飯碗の3グループに分かれ、本校の生徒は手順書を確認しながら、丁寧に説明をしていました。初めは緊張していた様子でしたが、少しずつ緊張もほぐれ、「次は、〇〇をします」「〇〇を取りに行きます。ついて来てください」などと自分から話し掛けていました。約1時間の交流でしたが、生徒一人一人が自分で考え行動できていたと感じました。

次回は、本校の生徒が福井南特別支援学校へ行き、窯業班との技術交流を行います。



紙と刷り班 交流

藤島中学校との交流

「昨年度の賞状がとても素敵だった。」「牛乳パックを再生して紙を作るというSDGsに通じる附属の取り組みが素晴らしいと思った。」「今年もまた賞状の紙を漉いて欲しい。」というような藤島中学校からの嬉しい言葉と依頼がビデオレターで届き、今年度も藤島中学校の体育祭の賞状を作成することになりました。昨年度のデザインが素敵だったからということで、デザイン自体は変えず、赤、青、黄、緑の色花紙を入れた紙を漉きました。今年は「丁寧に紙を漉く」ことを特に意識し、紙を作成しました。納品の際、藤島中学校の生徒が「すげえ。」「いい感じや。」と



心からつぶやく姿を見て、本校の生徒も誇らしげな表情をしていました。

近隣中学校の学校祭の一翼を担うことができたことや、同年代の子どもからの賞賛の言葉をもらって、本校の生徒にとって仕事のやりがいを感じることができたことは、自分達の仕事に自信を深める良い機会となりました。今後も継続していきたい交流です。

めがねフェス

9月30日(土)、10月1日(日)に鯖江の「めがねフェス」に紙と刷り班が出品しました。

昨年度焼き物班でお世話になった株式会社廣部硬器の方から「めがねフェスと一緒に参加しませんか?」とお誘いをいただきました。運動会の虹の市が終わると、めがねをモチーフにした製品作りを始めました。自分の好きな色やデザインで絵や模様を描いたり、好きなYoutuberの歌う曲をイメージして色付けしたり、好きなアニメなどをイメージしためがねをたくさん描いたりして、それぞれの生徒が思い思いにめがねをテーマに描いた絵を封筒やメッセージカードなどに仕上げました。また、校外学習で鯖江の水引工房に行ったときにめがねの水引の作り方も教えてもらい、それを封筒やメッセージカードに付けて販売しました。



当日は、生徒による対面販売ではなく、委託販売という形で、来場されたたくさんの方に紙と刷り班の製品を手にとっていただけました。廣部硬器さんとの御縁で、生徒たちの製品について知ってもらう良い機会となりました。



日新公民館まつり



10月15日(日)に、日新公民館まつりが開催されました。同じ日新地区の本校から、今年度は全学部の作品を展示しました。小学部は、共同で制作した旗、中学部の鳥グループは粉末にした野菜を入れたレターセット、花グループはカラフルに染めた封筒など、高等部は焼き物班、畑織り班、紙刷り班の仕事で制作した製品を展示しました。今年は、地域の学校やクラブなどの展示、福井大学の学生によるよさこいの披露などもあり、大変にぎわったお祭りとなりました。